

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①多世代卓球教室／スポーツチャレンジ教室
- ②ミニバレーボールウィンターリーグ／第3回ディスカバリーカルチャー
- ③まが玉づくり／早寝早起き朝ごはん運動啓発強化期間／第1回あつまスケートまつり
- ④町民スケートリンクの利用について／11月定例教育委員会／読書感想文コンクール／冬のハンドメイドづくり／冬季休業中の学校閉庁日について
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

多世代卓球教室開催！ 総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会 ～文化・スポーツ教室～

雪もまばらに降り始めた11月25日(火)、厚南中学校体育館で総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会による卓球教室が開催されました。小学生から大人まで17人の参加があり、それぞれのレベルに合わせて卓球を楽しみました。

未経験者のグループには、TTC上厚真卓球スポーツ少年団で代表を務める山崎基憲さんが指導にあたり、ラケットの持ち方と構え方といった基本から、フォアハンド・バックハンドでボールを返す練習までを行いました。経験者のグループでは、趣味で卓球をたしなんでいる方や、卓球部、スポーツ少年団の子どもたちが一緒になって試合形式を中心に行いました。

「実は昔、卓球をやっていました」といってラケットを持参して参加する大人の方がいたり、勝ち負けだけではなく大人も小学生も夢中になって卓球を楽しむ様子が見られたりと、1時間半のプログラムが短く感じ、もっと打ちたかったというアンケートの回答もあったほどの濃密な卓球教室となりました。



山崎さんの丁寧な指導で基本を教わりました



世代を問わず卓球を楽しみました

スポーツチャレンジ教室～バドミントン教室～ &コーチ・ペアレンツ講習会を開催しました！！

11月30日(日)、スポーツセンターでバドミントン日本代表としてロンドンオリンピック・リオオリンピックで活躍された佐々木翔さんと、スピードスケート日本代表としてサラエボオリンピックに出場された鈴木靖さんを講師にお招きして、「スポーツチャレンジ教室～バドミントン教室～&コーチ・ペアレンツ講習会」を開催しました。

バドミントン教室では、佐々木さんの実技を交えながら指導していただきました。さまざまなショットを正確に打ち分ける技術を間近で見ることができた大変貴重な機会となり、世界大会出場経験のある選手ならではの考え方も垣間見えました。

また、コーチ・ペアレンツ講習会では、各種スポーツのトップアスリートとも関わりを持っている鈴木さんに講演していただき、子どもの体力等のデータに基づいた情報からトップアスリートに関する内容まで、有益な情報にあふれていました。



オリンピックによる実技を交えた技術指導



町内外から多くの方に参加いただきました

全12チームで熱戦!! ミニバレーボールインターリーグ

11月9日(日)、スポーツセンターで第31回ミニバレーボールインターリーグが開催されました。今大会は、全12チーム(Aリーグ10チーム、Bリーグ2チーム)計86人の選手が参加。Aリーグは『マーボーレッド』、Bリーグは『ざーます+』がそれぞれ優勝しました。

今年は、厚真高校から2チームの参加があったことなどから、昨年の9チーム計55人から大幅に参加者が増え、試合も大盛り上がりとなりました。

ミニバレーボールは、どの年代の方でも気軽に楽しむことができ、仲間との交流促進や健康増進にも適した競技です。次回もぜひ多くの皆さんにご参加いただき、一緒にいい汗をかきましょう!



白熱した試合を繰り広げる選手たち



厚真高校からは2チームが参加



Aリーグ優勝 マーボーレッド



Bリーグ優勝 ざーます+

月や土星などを発見!!



ディスカバリーカルチャー

『プラネタリウム』×『天体観望会』



11月30日(日)、厚真町青少年センターで今年度3回目となるディスカバリーカルチャーを開催しました。第3回のテーマは『天体観測』。講師に、札幌市天文台勤務で、海外で数多くのオーロラ撮影を行っている横山明日香さんを招き、オーロラの発生の仕組みやオーロラの色、オーロラの撮影方法などをお話いただき、横山さんが撮影したオーロラの動画も見せていただきました。

また、普段のプラネタリウムでは自動音声による『今日の厚真町の星空解説』を放映していますが、この日は特別に、星座や神話についてなど、普段は聞けない興味深い解説をたくさんいただきました。さらに、手動でいろいろな星を投影したり、海外の星空を映し出したりなど、プラネタリウムをフル活用した貴重な機会となりました。

後半は、天体観測を実施。数日前までの雨予報が晴れに変わり、天体観測も無事行うことができました。天文台では月や土星などをきれいに見ることができ、屋上ではデジタル天体望遠鏡を使って土星や星雲などを観察。事前にプラネタリウムで解説をしていただいたこともあり、参加者も星のことについて詳しくなっており、天気も味方して、とてもきれいな星空を見ることができました。



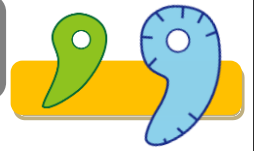
オーロラをプラネタリウムで!



11月の星空はとてもきれい

大好評!

冬の「まが玉づくり」のお知らせ

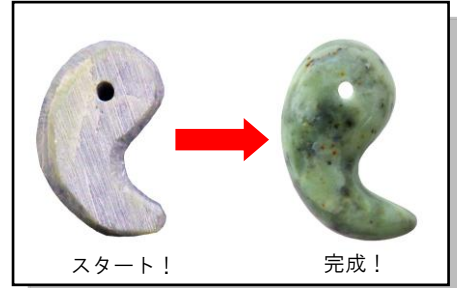


子どもから大人まで大好評の事業「まが玉づくり」を行います。

縄文時代から受け継がれている美意識の一つである「まが玉」。北海道産の天然石を使った、世界に一つだけの“ストラップ付きオリジナル石のペンダント”をつくってみませんか。

現在、軽舞事務所で保管をしている開拓文化財や、ウポポイでも展示されたアイヌ出土文化財などを、学芸員の解説付きで見学できる「特別見学」も行います。通常は土日祝日のため閉館していますが、まが玉づくりと合わせて施設の見学もできますので、ぜひご参加ください。

- ◆日時 令和8年1月12日(月・祝) 10時～13時
- ◆場所 軽舞遺跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)
- ◆定員 先着20人程度(小学生以上)
※小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆締め切り 令和8年1月8日(木) 17時まで
- ◆申込・問合せ 軽舞事務所 ☎28-2733
メール shakai@town.atsuma.lg.jp



紙やすりで角を削って磨くと完成です!

12月と1月は「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間です!

12月と1月は、子どもたちの生活リズムの向上を目的とした「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間です。

北海道教育委員会では、子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるよう、「朝食をとらずに登校する子をゼロに」を目標に掲げて、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動を展開し、子どもの生活リズムの向上に取り組んでいます。

子どもたちが毎日を元気に楽しく過ごし、健やかに成長していくためには、基本的な生活習慣を身に付けることがとても大切です。子どもたちの冬休みを含むこの期間に、家族みんなで「早寝早起き朝ごはん」運動を積極的に取り組みましょう。

○北海道教育委員会HP「早寝早起き朝ごはん」の取組のページ

<https://www.dokyoioi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/haynehayaoki.html>



第1回あつまスケートまつり(旧スケート記録会)

例年、小中学生を対象に厚真町スケート記録会として開催していた本大会を、今年度から、『あつまスケートまつり』に名称を変更し、①スピードスケート以外のシューズでも活躍できる種目を追加、②小中学生以外でも参加できる競技設定、③冬や雪、氷とふれあいながら楽しく体を動かせるイベントの開催など、これまでとは内容を大きく変えて開催する予定です。キッチンカーの出店も予定していますので、これまで参加したことのない方でも楽しめます! みんなで冬を楽しみましょう!

◆日にち

令和8年1月24日(土) 9時00分～
予備日: 1月25日(日)

◆場所

町民スケートリンク

◆内容

- ①イス押し50M競争
- ②幼児競争
- ③100M競争
- ④人間カーリング
- ⑤イス押しリレー



※12月24日発行の広報あつまにチラシを折り込みますので、詳しくはそちらをご確認ください!

【問合せ】教育委員会社会教育グループ ☎27-2495

令和7年度「町民スケートリンク」の利用について

今シーズンの町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。

◆利用期間

令和7年12月27日（土）から
令和8年2月15日（日）を予定しています。
※決まり次第、防災無線及び町ホームページにてお知らせします。

◆利用時間

平日・土曜：9時～20時
日曜・祝日：9時～17時

◆年末年始の利用時間について

12月31日 午前9時～正午まで
1月1日 休み
1月2日・3日 午後1時～4時まで
※天候や気温等により利用期間が変更になる場合があります。

◆問合せ

厚真町教育委員会 ☎27-2495
スケートリンク管理棟 ☎27-3233

令和7年度

『読書感想文コンクール』

教育委員会では、町内小学校に通う児童を対象とした「読書感想文コンクール」を今年も開催します。

心に残った1冊の思い出を、感想文で表現してみましょう。

応募者には参加賞のプレゼントもありますので、ぜひご参加ください。詳細については、各学校から配付される案内チラシをご覧ください。皆様のご応募をお待ちしています。

【問合せ】

厚真町教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

冬のハンドメイドづくり

冬休みの思い出に手作りいろいろなものをつくりませんか？ 申込みは不要で、誰でも参加できます！ぜひご参加ください。

◆期間：1月14日（水）まで

12月30日～1月4日（年末年始）

1月12日（成人の日）は休館です。

◆場所：青少年センター1階図書室

◆時間：9時～16時半

12時～13時は屋休みのためお休みです。

◆作るもの：オーナメントになる小さな織り物

毛糸でつくるシュシュ

ダンボールで作るふたつきの箱

11月定例教育委員会

11月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

11月校長会議、教頭会議／厚真町立学校職員セーフティラリー／厚真町文化祭ウィーク／図書フェスティバル／陶芸教室／アイヌ文化講演会／ミニバレーウインターリーグ／厚真高校活性化促進事業先進地視察／部活動地域展開住民説明会 他2件

◆議案

厚真町指定学校変更及び区域外就学取扱要綱の制定について

◆その他

「二十歳のつどい」の開催について／歳末たすけあい運動について 他2件

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494



冬季休業中の

学校閉庁日について

町内の小中学校では、次のとおり冬季休業中の学校閉庁日が設けられています。

閉庁日の期間は学校内に教職員が不在となるため、学校への問い合わせや転出入の手続きは行えませんのでご注意ください。

【閉庁日】

12月29日（月）～令和8年1月5日（月）

【注意事項】

◆緊急の場合は、学校が提示する連絡先または学校教育グループにご連絡ください。

◆閉庁日の期間及びその前日は、学校開放による体育館等の利用はできません。

【問合せ】

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

図書室だより

厚真公民館図書室仮移転 本格的に始まる

以前からお伝えしてまいりましたとおり、図書室の仮移転に向けて、図書室の引っ越し作業の準備を始めています。

これまでも創作館や厚南会館の本を中心に、利用がない本や日焼け等の汚れがひどい本などからリサイクル配布、古紙回収と処理を進めてきました。今後は、青少年センターの本について、仮移転先へ移動する本、厚南会館2階図書室へ移動する本と仕分け作業をして、本棚の中身を変更します。今まであった場所に本が見当たらないなどのご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、係員が所在を調べるお手伝いをしますので、カウンターまでお申し出ください。

1月以降の作業予定ですが、リサイクル本は準備ができたものからリサイクル本コーナーに並べていきますので、欲しい本が見つかりましたらお持ち帰りください。

移転時期が近づくと、本の箱詰め作業に取り掛かります。小説や料理・手芸など、利用頻度の高い本は最後のほうに箱詰めする予定です。今後の作業予定や開館日、閉館予定については、次号の図書室だよりでお知らせします。

なお、12月から厚南会館1階ロビーにもリサイクル本コーナーを設けましたので、こちらも併せてご利用ください。



2025年厚真町で一番借りられた本は…

- 「カフネ／阿部暁子」
- 「禁忌の子／山口美桜」
- 「月収／原田ひ香」

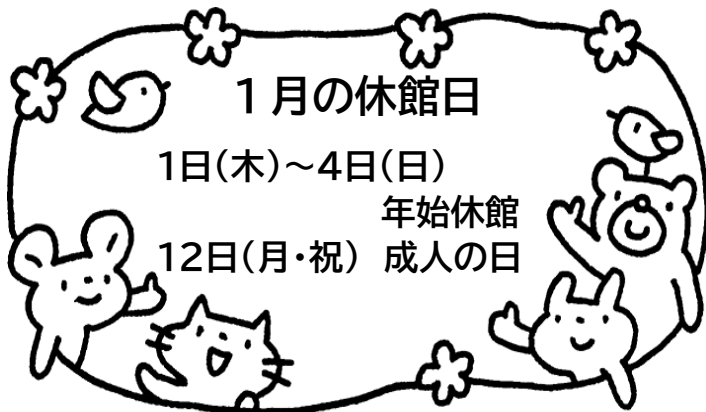
この3冊が貸出回数15回で同率1位でした。
次点は「猫の刻参り／宮部みゆき」の14回でした。



年内は12月29日(月)まで

新年は1月5日(月)9時から

開館します



- 青少年センター図書室開館時間
9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)
9時00分～19時00分(火・木)
※祝日、年末年始は休館となります。
- 厚南会館図書室
9時00分～17時00分(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

あそびにきてね!

1月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
22日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：厚真子育て支援センター



☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

「ねえ、外で遊んでもいい？」と目をキラキラさせながら帰ってきた子どもたち。今シーズン、初めてまとまった雪が降った翌日のことでした。まだ積雪は1～2センチほどでしたが、それでも子どもたちには待ちに待った雪遊びの季節です。全身からワクワク、ウズウズしている様子がうかがえました。手袋もまだ毛糸の手袋だったり、上着もオシャレなダウンやファーの素材だったり、雪遊びをするには完璧とは言い難い恰好でしたが、初雪に触れる喜びにあふれた時間でした。これからは常に雪遊びが楽しめる支度をして来てほしいと思います。

11月29日(土)、今年も厚北地域防災コミュニティセンター『ならやま』をお借りして、子どもたちと高齢者のサロン活動、通称「男子会」とのコラボレーション企画【カレーランチパーティー】を実施しました。昨年より異世代交流を促進することを目的に合同企画として実施し、2回目の開催でした。子どもたちは風邪やインフルエンザの流行と重なり、昨年より参加者が少なめでしたが、逆に昨年より参加者が増えた男子会の皆さんと、より深い交流ができたと感じています。

子ども教室の参加者は、カレーをつくるチームとデザートを準備するチームに分かれ、準備をスタート。『ならやま』の活動に関わる皆さんから、ジャガイモ、タマネギ、ニンジンなどを差し入れていただき、また、カレールーとお米については、男子会の皆さんの活動からご提供をいただきました。デザートには、今年、『ならやま』の畑でつくったサツマイモを使って、ミニパフェをつくる計画にしました。サツマイモはサイコロ状に切って揚げ焼きにし、パフェのトッピングに加えます。今年は男子会の皆さんにも調理に参加してもらおうと、子どもも大人も1人ひとつパフェをつくることにしました。クリームや果物の缶詰、ホクホク甘いサツマイモの上に、最後はアイスまでトッピングし、豪華な仕上がりになりました。参加者の保護者に加えて、『ならやま』の活動を支えている地域のボランティアさんや社会福祉協議会のお手伝いもいただきながら、50食分のカレーが完成。炊き立ての白米から立つ湯気と、カレーの匂いにお腹の虫がグーっと声をあげます。

いただきますの前に、男子会を代表して会長さんからご挨拶をいただきました。「本物の家族は離れたところにいるけれど、今日は、家族といるような気持ちになりました。いろいろと準備をしてくれてありがとう」という言葉を聞いて、ぐっとくるものがありました。子どもたちが作業をしているかたわらに来て「何をつくるんだ？」と声をかけてくれたり、「うまいな！」とカレーをおかわりしてくれたり、男子会の皆さんからいただいた“ありがとう”の一言は、子どもたちにとっても良い刺激になったと思います。子ども教室では、冬休みの活動でも異世代交流の場を企画しています。子どもたちにとっても、また、高齢者の方々にとっても良い時間を過ごせるよう努めていきたいです。

